

## 樹齢800年の古木



田んぼの真ん中に

### 春日神社のクスノキ

春日神社の手前に広がる田んぼの真ん中にたたくクスノキは、幹周り約5m。吉井地区で最も大きなクスノキで樹齢約800年と推定されています。春日大明神がここに鎮座する際、御神霊を一時胴腹に安置したと言い伝えられています。360度どの方向からも木を見ることができ、角度によってその表情もさまざま。雄々しさや、包み込むような優しさも感じられる木です。

所在地 吉井町田原  
「上吉田入口」バス停下車徒歩15分

樹勢が復活!

### 宇都宮神社の大ケヤキ

宮地区の氏神様、宇都宮神社の境内にそびえるケヤキは、幹周り4.3m。樹齢は800年を越すとみられています。ケヤキは良質の木材で、戦後、物資不足のころには、当時の金額で5万円で売ってほしいと持ちかけられたこともあったと言います。樹勢が衰えたため樹木医の手当を受けたところ、それまでは芽吹きが遅く落葉も早かったものが、境内に植えられている若いケヤキよりも樹勢が強くなってきたそうです。

所在地 萩坂町  
「宮前」バス停下車徒歩10分



滝つぼのそばで威風堂々と

### 滝野観音の大スギ

小森川の最上流に位置する滝野観音は霊場として知られています。お堂脇に立つ、独特な姿をしたイチヨウを横目に、苔むした数十段の石段を下ったところに3本の大スギがあります。天に向かって真っすぐに伸びた幹の太さは、大人1人では抱えきれないほどに育っています。境内は滝つぼに落ちる水音が響き、その中央に植えられたスギのたたくまは子安観音、慈母観音を見守るような、威風堂々としたものです。

所在地 心野町  
国道35号「横手入口」から県道53号を柚木方面へ約2.5km。心野公民館から車で約3分

## 特集「歴史散歩」番外編 させぼの癒やしの木

木は太古から人類と寄り添い、食物や燃料、建材、また酸素の供給源として、共に生きてきました。近年は森林の持つ健康と癒やしへの効果が科学的に証明され、地球温暖化問題で木の果たす役割にも注目が集まっています。現在市内にある樹木や社叢（しゃそう、神社の森）などのうち、県が8件、市が12件を天然記念物として指定していますが、このほかにも樹齢800年を越す木や幹周り5mを超す巨木など、まだまだ知られていない木もたくさんあります。今回は、本紙の人気コーナー「歴史散歩」の番外編として、筆者の筒井隆義さんと一緒に、市内にあるさまざまな木を探し歩いてみました。もうすぐ草木が芽生える新緑の季節を迎えます。森林や街を散策しながら、木の持つ癒やしの効果を体感してみませんか。

森林の健康と癒やしへの効果

免疫機能を有するナチュラル・キラー細胞の活性が上昇。ストレスホルモン「コルチゾール」が減少。緊張・抑うつ・怒り・疲労などがおさまリリラックスする（林野庁「森林の健康と癒し効果に関する科学的実証調査」より）。

地球温暖化問題と木の役割

温室効果ガスの一因である大気中の二酸化炭素を吸収して光合成を行い、酸素を供給。二酸化炭素濃度の増加を抑制する。